

2020年1月27日

会 員 各 位

四国紙パルプ研究協議会
(公社)愛媛県紙パルプ工業会

講演会開催のご案内

四国紙パルプ研究協議会の令和元年度第2回講演会を下記のとおり開催いたします。
ご多忙中とは存じますが多数ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

開催日時 令和2年3月10日(火) 13:30~16:15
開催場所 高知県立紙産業技術センター 2階研修室
吾川郡いの町波川287-4 TEL 088-892-2220
参加費 無料
申込先 四国紙パルプ研究協議会事務局
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町4084-1
TEL 0896-58-2055 FAX 0896-58-6240
E-mail info@e-kami.or.jp
申込方法 令和2年3月3日(火)迄に別紙申込書をファクス又はe-mailにて送信ください。

【演題要旨】

『樹木精油の機能、利用法についての我々の研究の紹介』 13:35~14:20(45)
高知大学 農林海洋科学部 教授 大谷 慶人 氏
樹木の特徴は微量含有する抽出成分によって大きく左右される。それらは種々の生理活性を有しており、樹木が周りの環境に順応するために利用している。抽出成分の中でも揮発性を有する精油は採取が比較的容易で、樹種によってはまとまった量が得られるために、様々な用途に期待されている。卒業論文、修士論文、博士論文を含めた大学研究の中で、多くの分野の研究を試みたが、樹木精油に関する研究は最も長く継続したものである。地元の要望からスタートした研究ではあったが、自身の興味もあって、多くの時間を費やした。ここでは、いままでに得た樹木精油の可能性に関する研究結果を紹介する。

(休憩 10分間)

『リチウムイオン電池用セルロース系セパレータのご紹介』 14:30~15:15(45)
ニッポン高度紙工業(株) 開発二部開発課 課長代理 和田 典弘 氏
リチウムイオン電池は、近年、電気自動車やハイブリッド自動車の電源として使用されており、CO₂削減などの環境規制の高まりから今後も市場拡大は続くと予想されている。従来、リチウムイオン電池用セパレータとして、ポリエチレンやポリプロピレンからなるポリオレフィン微多孔膜が使用されているが、当社のセルロース系セパレータは耐熱性に優れ、高空隙率や高保液率により、電池の性能向上が期待できる。本講演では当社セパレータの特長等について紹介する。

(休憩 10分間)

『セルロースナノファイバー(CNF)の特性評価』 15:25~16:10(45)
高知県立紙産業技術センター 素材開発課 課長 鈴木 慎司 氏
セルロースナノファイバー(CNF)は植物から得られるセルロース繊維をナノオーダーまで高度に微細化したバイオマス素材であり、軽量、高弾性、低線熱膨張性、光学透明性、酸素バリア性などの特性を持つ注目素材である。当センターにおいても、平成27年度にCNF製造装置を導入し、紙や不織布と複合させた新素材・新製品の開発を行っている。

しかし、CNFの評価方法は確立されておらず、CNFを用いた製品開発を難しくしている。ディスク遠心式粒子径分布測定装置を用いてCNFを評価したところ、CNFの繊維径と測定される粒子径が良い相関を示した。この結果を中心に当センターで試作したCNF製造条件と得られたCNFの特性について報告する。

令和元年度 第2回講演会参加申込書
(令和2年3月10日開催)

事業所名			
所在地			
TEL 番号		FAX 番号	
部署・役職		参加者氏名	

四国紙パルプ研究協議会

FAX 0896-58-6240

E-mail info@e-kami.or.jp